

様へ

説明看護師(外来)

看護師(病棟)

月日	月 日	月 日	
経過	当日術前 (入院日)	当日術後	術後1日目 (退院日)
目標	心身ともに安定した状態で手術を受けられる 治療に対する不安を表出できる	術後合併症を起こさない 安静が守れる	術後合併症を起こさない 歩行できる 日常生活の注意点が理解できる
検査	・身長・体重測定		
食事	朝より絶飲食	帰室6時間後より水分開始	朝より食事再開
処置・観察	リストバンドを装着します (退院日まで) 経口補水液の飲水量を確認します 静脈瘤をマーキングします 時間になれば、看護師が手術室にご案内します	手術後以下の挿入物、装着物があります ・酸素 → 手術3時間後に取り外します ・心電図モニター → 取り外します ・点滴の管 → 14時の点滴終了後、取り外します ・尿道カテーテル → 取り外し、排尿を確認します ・フットポンプ → 取り外します ・エラスコット包帯(更にサポーター) 圧迫することもあります	退院時にリストバンドを外します 創部の観察、処置を行い、医師の指示で弾性ストッキングを装着します
	状況に合わせて、体温・脈拍・血圧・酸素飽和度を測ります		
注射・内服	持参薬、お薬手帳を看護師にお渡お渡しください	以下の点滴を行います ・持続点滴 → ・抗菌薬 →	鎮痛薬を服用します (残薬は持ち帰ります) → 6時・14時 抗菌剤
行動・リハビリ	朝 自宅で入浴してきてください 以下の手術準備をします ・手術着に着替え ・入れ歯、アクセサリ、時計等の取り外し 制限はありません	翌朝までベッド上安静です (足先の運動は心がけて行ってください)	午前中 ・全身清拭し、手術着からパジャマに着替えます 弾性ストッキングを装着し退院します 歩行を開始します (血栓塞栓予防ため、必要以上の安静臥床は避けましょう) ・14時の抗菌薬終了後退院です
説明	主治医・麻酔科医より説明 (外来又は入院時) ・治療計画について ・手術について ・麻酔について 病棟・手術室看護師より説明 ・入院生活について (パスシート・下肢静脈瘤手術をけられる方へを使用) ・手術について ・持参物確認	主治医より説明 ・手術結果について 看護師より説明 ・術後の注意点について ・下肢運動について	主治医より説明 ・退院後の治療計画、療養上の留意点について 看護師より説明 ・退院後の療養生活について (退院療養計画をお渡しします) ・弾性ストッキングの履き方について
	以下を入院までにご購入ください(病院内ローソン) <input type="checkbox"/> エラスコット 10cm幅包帯 ()本 <input type="checkbox"/> 弾性ストッキング(ストッキングタイプ) 1箱		

* 入院に際してこの用紙を必ずお持ちください。

09-183-4 2023.3.1版 京都第一赤十字病院

* 入院時に栄養状態を評価して栄養管理計画を立てます。また、定期的に栄養状態の再評価を行い、計画を見直します。

* この表はおよその経過をお知らせしたものです。種々の都合により、予定通りではないこともありますので、予めご承知ください。

